

ありまつ



2025.09

No. 42

当院で採用している手術支援ロボット 『センハンス・デジタルラパロスコピー・システム』 について

外科診療部長

吉田 周平

センハンス・デジタルラパロスコピー・システム（以下センハンス）は、最新の医療ロボット技術を活用した腹腔鏡下手術支援システムです。従来の腹腔鏡手術の良さを活かしつつ、より安全で精密な手術を実現するために開発されました。当院では4月に北陸地域で初めてこのセンハンスを導入し、手術件数を重ねています。



手術支援ロボット
『センハンス・デジタルラパロスコピー・システム』

～ センハンスの主な特長 ～

●小さな傷で体にやさしい手術

センハンスは従来の腹腔鏡手術と同じ器具（トロカー）を使用するため、体への負担が少なく、術後の回復も早いのが特徴です。

●触覚フィードバック機能

医師が操作する鉗子かんしの先端に触覚センサーが搭載されており、臓器や組織に触れた感触が術者に伝わります。これにより、臓器損傷のリスクを減らし、より安全な手術が可能です。

●高精度な操作と安定した視野

ロボットによる手ぶれ補正や、術者の目の動きに合わせてカメラが自動で動く「視線追従カメラ」機能により、常に安定した拡大視野で手術が行えます。細かい操作が必要な場面でも、正確な処置が可能です。



●術者の負担軽減

医師は座ったまま快適な姿勢で手術を行えるため、長時間の手術でも疲れにくくなっています。



●保険適用

センハンスによる手術は、ほぼ全ての腹腔鏡下手術に対して保険診療が認められています。ロボット支援手術とは言っても、新たな費用負担などはありません。



～従来の腹腔鏡手術との違い～

内視鏡カメラや5mm径という細い腹腔鏡鉗子を使用するという点では違いはありませんが、上述のように外科医の手ぶれがないことでより正確な操作が可能になったことに加え、患者さんのお腹の鉗子の挿入部分にかかる力を自動計算して、負担を減らす機能も備わっており、これまで以上に傷の痛みが軽減される可能性があります。

対象となる主な疾患

現在ではおもに消化器疾患を対象に行なっています。胃がん、大腸がんなどの悪性疾患はもちろん、多くの大病院で使われている手術ロボットでは行えない胆石症や鼠径（そけい）ヘルニア、虫垂炎（いわゆる盲腸）に対しても使用可能であることが、この「センハンス」の特徴です。これまで当院で行なってきた様々な腹腔鏡手術のノウハウを活かし、最新機器のロボットに応用して質の高い手術を行なっています。



センハンス・デジタルラパロスコピー・システムは、患者様にとって「より安全で体にやさしい手術」を実現するための新しい選択肢です。ご不明な点やご質問がございましたら、担当医までお気軽にご相談ください。

診療科目

- 内 科
 - ・循環器内科
 - ・呼吸器内科
 - ・消化器内科
 - ・内視鏡内科
 - ・肝臓内科
 - ・腎臓リウマチ膠原病内科
 - ・人工透析内科
 - ・内分泌内科
 - ・糖尿病代謝内科
 - ・漢方内科
 - ・血液内科
 - ・脳神経内科
- 外 科
 - ・消化器外科
 - ・内視鏡外科
 - ・乳腺外科
 - ・肛門外科
 - ・内分泌外科
 - ・心臓血管外科
 - ・呼吸器外科
 - ・麻酔科
- 整形外科・リウマチ科
 - 皮膚科
 - 泌尿器科
 - 脳神経外科
 - 婦人科
 - 放射線科
 - リハビリテーション科
 - 人間ドック
 - 各種検診
 - 協会けんぽ健診
 - 各種ワクチン接種

診療時間

- 平日 AM 8:30 ~ PM 6:00
- 水 土 AM 8:30 ~ PM 1:00
- 日 祝 休 診

※ただし、かかりつけの方
および緊急時は随時診療
いたします。